

検査Ⅳ 音楽

(解答上の注意) 解答は、すべて解答用紙に記入すること。

- 1 次の文章は、高等学校学習指導要領「芸術 第2款 第1 音楽Ⅰ」より「2 内容」からの抜粋である。(A) ~ (E) に当てはまる適切な語句を答えなさい。

A 表現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(2) 器楽

器楽に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 器楽表現に関わる知識や (A) を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や (B) ・歴史的背景との関わり

(イ) 曲想と楽器の音色や (C) との関わり

(ウ) 様々な表現形態による器楽表現の特徴

ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。

(ア) 曲に (D) , 身体の使い方などの技能

(イ) 他者との (E) を意識して演奏する技能

(ウ) 表現形態の特徴を生かして演奏する技能

- 2 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

国民楽派とは19世紀後半、とりわけイタリア、ドイツ、オーストリア、フランス以外の東欧・北欧地域で盛んとなった民族主義的な作曲傾向をもつ作曲家たちを指す。

ロシアでは、オペラ「ルスランとリュドミラ」で知られる(①)が、ロシアの国民主義音楽を創始する。その後、台頭したのが、バラキレフ、(②)、(③)、(④)、(⑤)からなるロシア五人組である。彼らは西洋音楽中心の考え方に対抗し、ロシアの民族性に根ざした音楽の創造を目指した。従来の伝統的な慣習にとらわれることなく、民族性を大胆に表現する彼らの代表的な作品として、(④)の「ダッタン人の踊り」や【 a 】交響詩「中央アジアの草原にて」、(③)のピアノ組曲「展覧会の絵」や交響詩「はげ山の一夜」、(⑤)の『千夜一夜物語』を題材とした交響組曲「【 A 】」などがある。(⑤)はまた、管弦楽法や和声法の著書を残すほど、西洋芸術音楽の作曲技法に精通しており、(③)や(④)の作品の補作や編曲も行った。

一方、彼らとは一線を画していたのが、アントンとニコライのルビンシテイン兄弟や交響曲第6番「悲愴」や幻想序曲「ロミオとジュリエット」の作曲者、(⑥)である。彼らはロシア五人組ほどに民族性を前面に押し出すのではなく、西欧化をより意識して音楽創作を行った。ルビンシテイン兄弟のそれぞれがロシアの主要2都市に音楽学校を設立しており、その中のサンクトペテルブルク音楽院の卒業生が(⑥)である。

検査IV 音楽

長きにわたってオーストリア及びハンガリーの支配下にあったチェコでも、独立の機運が生じるようになった。そうした社会情勢の中、作曲家として頭角を現したのが (⑦) である。彼の有名な連作交響詩「我が祖国」の《 【 B】 》はチェコの首都プラハの中心部を流れる河川を題材にしている。(⑦) の後継者といえる (⑧) は民謡などを題材とする、素朴で親しみやすいノスタルジックな旋律を得意とした。「スラヴ舞曲集」やアメリカに移った後に書いた「チェロ協奏曲」「交響曲第9番く【 C】より」など、チェコの民族性を生かしつつ、純粋な器楽曲として高い完成度も兼ね備えた数々の名作を残した。北欧では、【 D】の (⑨)、【 E】のシベリウスが、国民楽派の代表的な作曲家として名高い。彼らの音楽は、雪に覆われた北欧の森や湖の情景をほうふつとさせる響きを特徴とする。(⑨) は「ピアノ協奏曲イ短調」や付随音楽「パール・ギュント」、シベリウスは「交響曲第2番」や「ヴァイオリン協奏曲ニ短調」、交響詩「フィンランディア」といった代表作で知られる。

(1) (①) から (⑨) には当てはまる作曲家名をカタカナで答えなさい。

(2) 【 a】交響詩に当てはまる文章を次の イ～ハ より一つ選択しなさい。

イ 標題付の1楽章形式の管弦楽曲

ロ 即興的な性格をもった器楽の小品

ハ オペラなどの主要部が始まる前にオーケストラで奏される楽曲

(3) 【 A】に当てはまる語句をカタカナで答えなさい。

(4) 【 B】に当てはまる語句をカタカナで答えなさい。

(5) 【 B】は連作交響詩「我が祖国」の第何曲目かを算用数字で答えなさい。

(6) 【 C】に当てはまる語句を漢字で答えなさい。

(7) 【 D】と【 E】に当てはまる国名をカタカナで答えなさい。

3 次の文章を読んで以下の問に答えなさい。

古墳時代後半から奈良時代において、アジア大陸との交流を通して日本に様々な音楽が伝来した。主なものに朝鮮半島の (ア)、(イ)、高句麗楽、遣唐使などによって中国から伝えられた (ウ)、中国で学んだ百済人が伝えたといわれる伎楽、インドやインドシナ半島に起源をもつ林邑楽、中国東北地方の渤海楽などがある。そして、これらの外来音楽と日本古来の音楽(倭歌、久米歌など)を教習、演奏、管理するために (エ) が設置された。また、仏教の経典を唱える (オ)、物まねや曲芸など娯楽的要素をもつ (カ) も伝えられた。

平安時代には、外来の音楽が貴族社会を中心に国風化された。雅楽のうち舞を伴って演奏される (キ) は、その系統により①左舞と右舞に大別され、②楽器編成や曲の形式が整えられた。また、舞を伴わずに演奏する管絃も生まれた。

さらに、雅楽の楽器を伴奏に用いた③催馬楽や朗詠といった宮廷歌謡が生まれ、日本古来の歌や舞である神楽歌や東遊なども宮中の儀式で盛んに演奏された。(カ) は平安時代中期には猿楽と呼ばれ、能の原型となった。(カ) の中の曲芸系の芸能は、平安時代に発生した (ク) の中にも取り入れられた。

検査Ⅳ 音楽

- (1) (ア)～(ク)に当てはまる適切な語句を漢字で正しく答えなさい。
- (2) 傍線部①の内容について、以下の A～C より正しいものを記号で答えなさい。
- A 左舞では林邑楽などを併合した唐楽が演奏される。
- B 右舞では平曲が演奏される。
- C 左舞の舞人の装束は緑を基調とし、右舞の舞人の装束は赤を基調とする。
- (3) 傍線部②について、雅楽において使用しない楽器を、以下の語群 イ～チ より二つ選択し記号で答えなさい。
- イ 鉦鼓 ロ 琵琶 ハ 箏 ニ 箏 ホ 笏拍子 ヘ 胡弓
ト 鞆鼓 チ 三味線
- (4) 傍線部③について、読み方を平仮名で答えなさい。

4 別紙楽譜を見て以下の間に答えなさい。

- (1) ① アで示した二つの音の音程を答えなさい。
- ② ①の音程のように、臨時記号を用いない、長調の音階などで作られるすべての音程のことを何というか答えなさい。
- (2) この曲は4分の3拍子ですが、2分の3拍子に拍子変更をした場合、イで示した音符の音価を答えなさい。
- (3) 上から5段目のパートには「2 Corni in G」と書かれています。ウで示した音をこの楽器で演奏した場合の実音を日本語で答えなさい。(オクターブは問わない)
- (4) エ～クで示した和音の種類を答えなさい。
- (5) ケで示した音楽用語は省略形です。正式な綴りをアルファベットで答えなさい。

(別紙)

The image displays a musical score for a piano piece, organized into three main systems of staves. The first system (measures 6-11) includes a treble and bass clef staff with a piano (p) dynamic and a "[1^{mo}] Solo" instruction. The second system (measures 12-17) is marked "[Tutti]" and features dynamic markings of piano (p) and forte (f). The third system (measures 18-23) includes dynamic markings of piano (p) and forte (f), along with "cresc." (crescendo) markings. Japanese characters are used as performance cues: "エ" (E) in the first system, "オ" (O) and "ア" (A) in the second system, and "カ" (Ka), "キ" (Ki), and "ク" (Ku) in the third system. The score is written in a key signature of one sharp (F#) and a 2/4 time signature.